

平成22年度第7回経営協議会議事要録

日時 平成23年1月26日(水) 10時
場所 KKRホテル名古屋 蘭の間
出席 学内委員4名 欠席2名
学外委員6名 欠席なし

会議成立

開会10時

議事に先立ち、学長から挨拶の後、総務課長から、本日の配付資料の確認及び会議日程等の説明があった。

次いで、学長から前回本協議会(平成22年12月10日開催)以降の大学の出来事について報告があり、質疑応答を行った。(内容は後掲)

議 題

1. 平成22年度第6回経営協議会議事要録の承認について
学長から提議され、原案どおりこれを承認した。
2. 給与支給制度の改正について
学長から提議され、平成17年度以降の人事院勧告に基づく地域手当について本学では抑制してきたが、各法人の教職員の給与水準、給与指数等、諸般の事情を考慮し、対応していききたい旨述べられた。
次いで折出委員から資料に基づき、本学の現行と国家公務員の給与の内容(地域手当、支給額に係る算出方法、対象額等)について説明の後、本学の対応案として平成22年度に限り刈谷市の地域手当を11%に平成22年4月1日に遡及して引き上げたい旨の説明があった。
これに対して、種々審議した結果、原案どおりこれを承認した。
なお、本件については過半数代表者に十分な説明をしていくことを確認した。
3. 2010年度愛知教育大学予算の補正(案)について
学長から提議され、折出委員から資料に基づき、設備整備費補助金として「既設電動式移動書架の整備」、「子どもの体力・運動能力解析システム」について補正が認められたため、2010年度本学予算に計上することの説明があり、標記補正案を承認した。
4. 2011年度学内予算編成について
学長から提議され、折出委員から資料に基づき、①2011年度の収入予測、②2011年度予算の基本方針、③2010年度予算の策定について説明の後、併せて平成23年度の予算内示額及び収入・支出予定額について説明があった。
これに対して、検定料収入見込み、授業料免除等について質疑応答の後、標記編成案を承認した。
なお、本編成案を基に財務委員会で2011年度予算を策定し、3月教授会に提案する予定である旨の説明があった。

報 告

1. 土地の寄附受入について

折出委員から、資料に基づき、本件については第4回本協議会（平成22年10月26日開催）にて本学卒業生からの農地寄附について承認された後、豊田市農業委員会へ譲渡申請していたが、その後手続きが完了して認可が下りたこと及び今後の有効活用等の利用計画について報告があった。

2. 次回開催日について

総務課長から、次のとおり報告があった。

第8回

日 時 平成23年2月17日（木）10時～12時

場 所 KKRホテル名古屋 福寿の間

閉会 11時45分

【12月10日以降の出来事についての質疑応答】

出来事

- ・入試ミスの公表
- ・知立市と安城市と連携協力協定を締結
- ・来年度予算原案本学分の通知
- ・国際化に向けた取組
- ・今後の大学改革の取組

○委員からの質疑 ●大学側の応答

○知立市との連携協力協定については、「街」と表記するより「まち」とした方が、住んでいる人、住み方、全体の雰囲気として適当ではないかと思う。

大学は刈谷市にあるが、隣の知立市がまちづくりで協定を締結というのはイメージがわからない。

●協定書では「まち」とひらがなで表記しているので、今日の資料は訂正願いたい。

近隣4市とは既に教育委員会レベルで連携に関する覚書きを締結し、外国人児童生徒の学習支援のほか、科学・ものづくり教育を推進するため、地域の学校等への訪問科学実験、教員の研修講師派遣等を行ってきた。あらゆる面において連携協力する趣旨の包括協定では、施設の利用、駅前商店街の活性化等、これから少しずつ具体化を進めていきたい。特に知立市は「まちづくり」、安城市から「環境」に関して協力してほしいと言われている。

○知立駅はセンター試験のとき、受験者が大幅に増えたと聞いている。大学へのアクセスは知立駅が主体となっていると思う。

○今後の入試ミスの防止策で、出題科目と直接関係のない教員による点検を試行的に実施するとのことだが、どのような教員を指すのか。今回のケースは外部からの指摘ということなので、専門家でないとわからないのでは。

●イージーミスであったため、第三者の方がよりミスを防ぐことが可能であると判断した。

○国際化対応については外国大学との単位互換はされているか

●一部では単位互換をしているが、教員免許に係る科目については各都道府県が認定機関であるため難しい。

以上